

## 多文化関係学会 2017 年度第 4 回理事会 議事録

開催日時：2018 年 3 月 17 日（土）12：30～14：50

開催場所：名古屋外国語大学 7 号館 3 階 737 教室

出席者（敬称略）11 名： 松永、中川、湊、田中、金本、原、笠原、宇治谷、武田、内藤、趙（順不同）

委任状（敬称略）4 名： 松井、奥西、出口、山田（順不同）

### 1. 報告事項

#### (1). 事務局報告（事務局長）

3 月 16 日現在の会員数の報告を行った。

総会員数 309 名うち正会員 245 名（内、不明 4 名、17 年度末退会希望 3 名、2017 年度会費未納退会希望 1 名）、学生会員 59 名（内、不明 5 名、2014 年度より会費未納者 1 名）、シニア会員 5 名（内、17 年度末退会希望 1 名）

#### (2). 各種委員会報告（各委員会委員長）

##### ① ニュースレター委員会より

2018 年 6 月に発行予定の NL 第 33 号の案が示された。

##### ② 学会誌編集委員会より

☆ 『多文化関係学』第 14 号の編集・発送を 1 月中旬に完了した。

☆ 執筆要領および投稿規定の一部改定を行った。（理事会承認済み）

☆ 日本語版と英語版の執筆要領および投稿規定に齟齬があるが、どの時点で発生したものが不明であり内容の確認ができないため、一時棚上げすることとした。（理事会承認済み）

☆ 再レイアウト代の個人負担に関して、「投稿規定第 15 条」に準じ、「個人に対し特別な費用が発生する場合は個人に負担してもらう」ということになった。（理事会承認済み）

☆ 会費未納の査読委員の取り扱いについて、お礼の意味を込めて学会誌を一冊謹呈した。（理事会承認済み）

☆ 今年度から査読委員に対して御礼状を送付している。

→今後学会ロゴが入るレターヘッドを使う方針で進める。（中川先生から出口先生に依頼）

☆ 第 15 号の投稿に関するお知らせの延長のため、2018 年度第 1 回編集委員会は 5 月 12 日または 19 日に開催する予定である。

☆ 編集委員会の来年度のメンバーは以下 8 名となる。

金本委員長 原副委員長

仲野委員（アドバイザー） 岡村委員 叶委員 奴久妻委員 オリバー委員 矢口委員

③ 関東地区研究会より

2018年2月17日に、小坂貴志氏により「対話論とは何か——対話的な社会問題の読み解きと会話の意味」をテーマとした今年度第2回関東地区研究会を開催した旨の報告があった。

④ 関西・中部地区研究会より

本日（2018年3月17日）、ヤコブ・E・マルシャレンコ氏により「法廷通訳人から見た通訳言語としての英語をめぐる課題に関する一考察」をテーマとした今年度第2回関西・中部地区研究会を開催する旨の報告があった。

⑤ 選挙委員会より

来年度で4年の任期を終える予定の理事は6名であることが報告された。

⑥ 学術委員会より

2018年度年次大会のテーマティックポスターセッション、「多文化共生と防災・災害対策の取り組み」に関して報告があった。

(3). 年次大会準備進捗状況報告

- ① 3月末から4月のはじめにかけて、年次大会のウェブサイトが開設されるとの報告があった。
- ② プレカンファレンスは名古屋国際センターで行う。このため、会場使用料が発生するが、料金に関しては、4月中旬以降に分かる。笠原先生の本務校から資金の援助を得られるかどうかの結果は4月中旬に分かる。援助がある場合は、名古屋国際センターの使用料金をそこから出すが、援助金が出ない場合は大会用の通帳から振り込む。（理事会承認済み）

(4). 記念図書出版について

多文化関係学会20周年記念事業企画について、記念事業企画作業部会において企画の「たたき台」が作成され、その報告があった。2018年5月の臨時総会で予算の費目を計上する予定である。

(5). その他

岡山大会の英語プレゼンテーションの内容を出版するため、2018年1月に英宝社に初校を提出し、2019年度完成の予定で進んでいる、という武田先生よりの報告があった。

## 2. 審議事項

### (1). 2018 年度の特定期間研究の募集について（学術委員会委員長）

2015 年度から募集開始以降、条件を満たした応募がない状況が続いているという報告があった。今後の進め方について審議を行った。

→審議の結果、2018 年度については募集を継続することになった。

### (2). 執筆要領・投稿規定に関わる事項などについて（学会誌編集委員会委員長）

#### ① 編集委員に対して APA の配布

若手の編集委員に APA を配布することが理事会で承認された。予算のことについて、編集委員会委員長から財務委員長に依頼することになった。

#### ② 倫理審査について

学会誌第 16 号から倫理審査を受けることを奨励することとする。（理事会承認済み）

具体的な提案は編集委員会委員長から出されることとなった。

### (3). 広域地区研究会について（執行部）

北海道地区（北海道地区研究会委員長）と東北地区（岩手大学の 2 名の先生を中心に）が協力し、広域地区研究会を行う可能性があるとの報告があった。

また、九州地区（九州地区研究会委員長）と中国・四国地区（中国・四国地区研究会委員長）が協力し、広域地区研究会を行う可能性があるとの報告があった。

### (4). 2018 年度第 1 回関東地区研究会について（関東地区研究委員会委員長）

非会員ゲストスピーカー（2 名）の謝礼の増額について審議を行った。

→1 人に 1 万円まで増額する（理事会承認済み）

→5 月 26 日の関東地区研究会の前に理事会と臨時総会を行うこととなった。

### (5). 2019 年度年次大会の異文化コミュニケーション学会とのコラボについて（執行部）

2019 年度年次大会について、異文化コミュニケーション学会とコラボして進めることが承認された。多文化関係学会の窓口は山本志都先生で、異文化コミュニケーション学会の窓口は出口真紀子先生となる。

### (6). その他

新入会員申し込みする際に提出すべき情報について、今後「研究分野/業務内容」を書いてもらうように設定することとした。（理事会承認済み）

### (7). 2018 年度年次大会について

- ① 大会日程について承認された。
- ② 参加申込（ウェブサイト）の様式が承認された。
- ③ 岩手大学の馬場先生がタイ教育省の Prayut Lukkum 氏を年次大会に招待する予定がある。大会でセッションを設けることとなった。（理事会承認済み）
- ④ 大会参加費：学部生が 500 円で参加できる金額を特別に設けることが承認された。
- ⑤ 宿泊についてプリンセスガーデンホテルで 20 室予約を取っている（追加可能）という報告があった。